消化器検診 Newsletter

No.102

［日本消化器がん検診学会関東甲信越支部機関紙］

発　行　所：日本消化器がん検診学会
関東甲信越支部
〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2
東京都がん検診センター
消化器内科
TEL／042-321-0711
E-mail:kantou@jsgcs-kanto.jp

ご　挨　拶

日本消化器がん検診学会　関東甲信越支部
支部運営幹事
村岡　勝美

このたび、関東甲信越支部の運営幹事を拝命することになりました、亀田総合病院附属幕張クリニックの村岡勝美です。検診を取りまく環境が変化する中で、関東甲信越支部として新たなスタートとなりました。今までご尽力頂いた先生方の功績に恥じないよう微力ながらお手伝いが出来ればと思っております。入口支部長のもと新幹事が協力し合い支部活動が活発になるよう、そして今後も安全で安心な検診であり続けるように、皆様と共に活動をしていくことが出来れば幸いです。今後ともご指導の程よろしくお願い致します。

目　次

「関東甲信越支部運営幹事、監事のごあいさつ」
村岡勝美…… 1
「症例クイズ」
小田丈二…… 2
第76回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会の告知…… 7
日本消化器がん検診学会関東甲信越支部
超音波研修委員会
第11回新潟セミナー…… 8
平成28年度超音波研修委員会セミナー…… 9
第5回千葉セミナー…… 11
編集後記　神宮字広明…… 12

症例クイズ　胃X線検診　基準撮影法1編

今回の症例クイズは胃X線検診　基準撮影法1による拾い上げ診断にしました。
病変は体部の後壁になります。

症　例　7X歳　男性
主　訴：特になし
既往歴：特になし
家族歴：特になし
現病歴：特に自覚症状なく、平成1X年X月に当センターの胃集団検診を受診。
　　異常を指摘され、当センター受診となる。

発見時　基準撮影法1　（体部後壁の病変のため呈示枚数を減らしています）

背臥位二重造影正面像

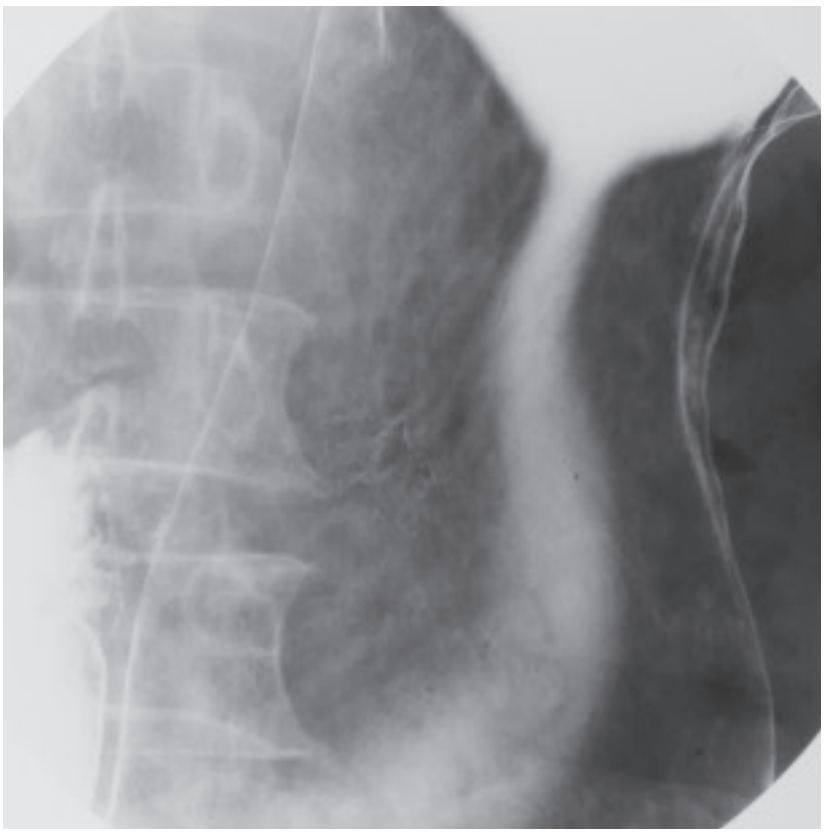
背臥位二重造影第1斜位像

背臥位二重造影第2斜位像

背臥位二重造影第2斜位像

問1　異常を指摘し、追加撮影を行いますか?またどの部位ですか?

追加撮影



右図：上図の拡大

問2　追加撮影から、どこに存在するどのような病変ですか?

答１　基準撮影法１の８枚のうち、体部後壁側が撮影範囲に含まれる背臥位正面位、第１斜位、第２斜位の４枚のみを提示した。

明らかな異常として指摘することは困難と思われる。

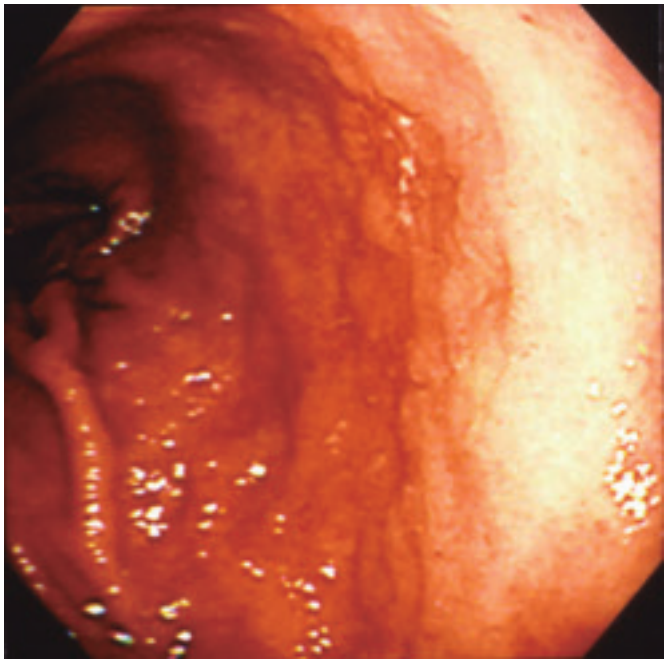
見直し診断では背臥位第２斜位（３枚目）で椎体と重なるように、同部位に粘膜異常として異常陰影を指摘することは可能ではあるが、癌確実として拾い上げることは困難と思われた。

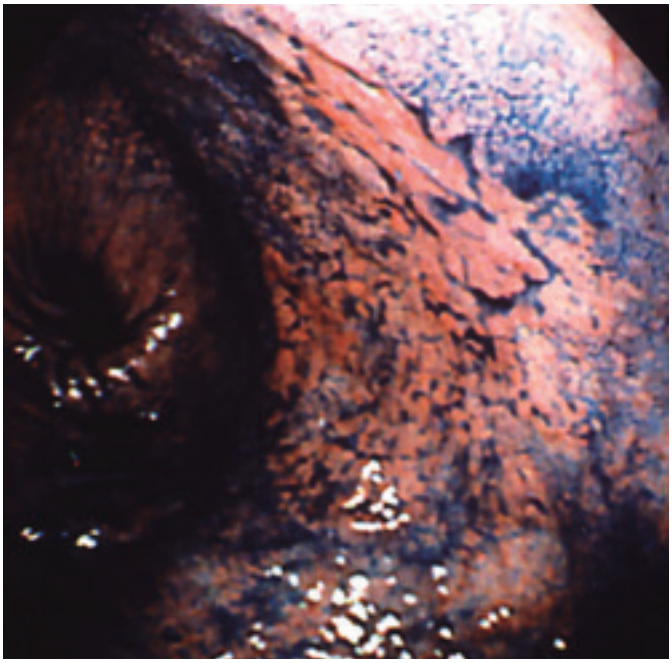
答２　背臥位第２斜位（いわゆる振り分け）撮影時の透視観察の際にわずかな陰影斑に気付いた撮影技師が行った追加撮影で、体中部後壁、内部に顆粒状陰影を伴う不整形の陰影斑として描出されている。

精密X線検査

発見時に指摘された異常よりも実際の病変は広く、空気量やや少なめの撮影では範囲診断も可能である。不整形の陰影斑の内部に顆粒状陰影を伴い、IIc病変である。

内視鏡検査

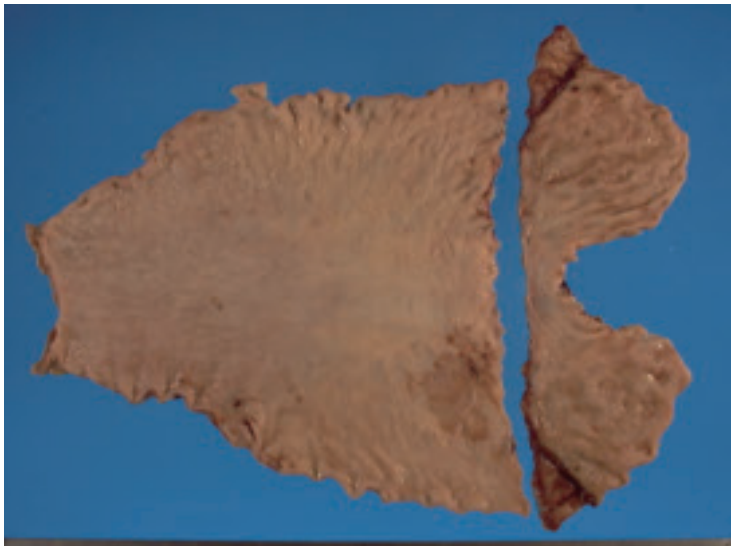


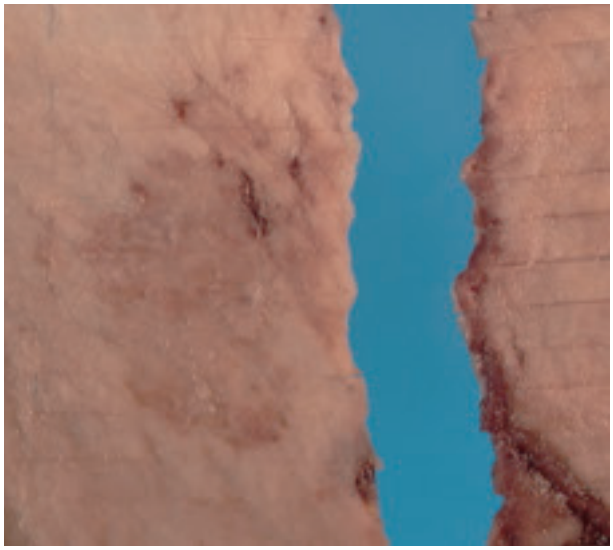


左：通常観察　　体中部後壁の発赤調の病変。通常観察では境界不明瞭。

右：インジゴカルミン色素観察　　比較的境界明瞭な陥凹性病変を認める。

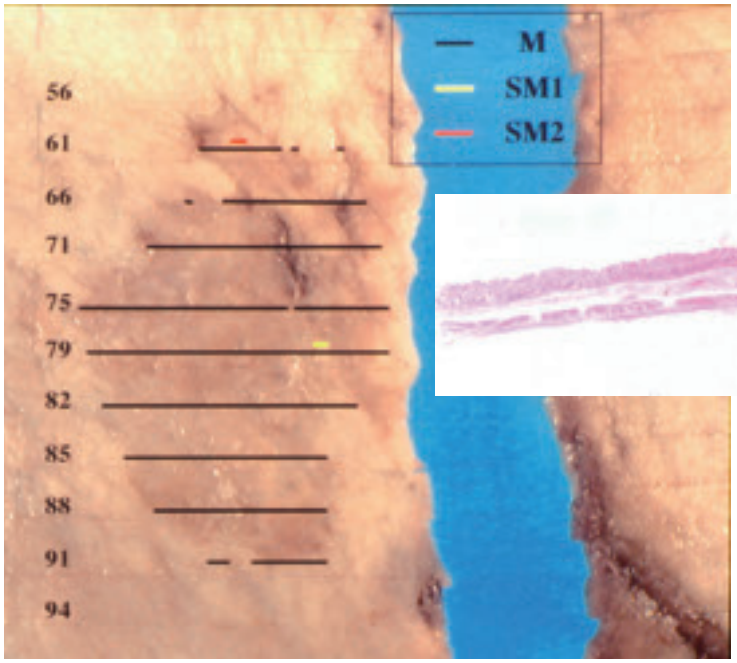
固定後標本および切り出し拡大図

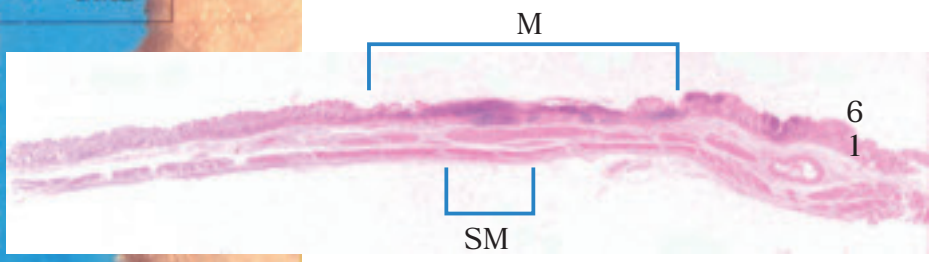




口側断端がぎりぎりであったため、最終的に胃全摘術が施行された。

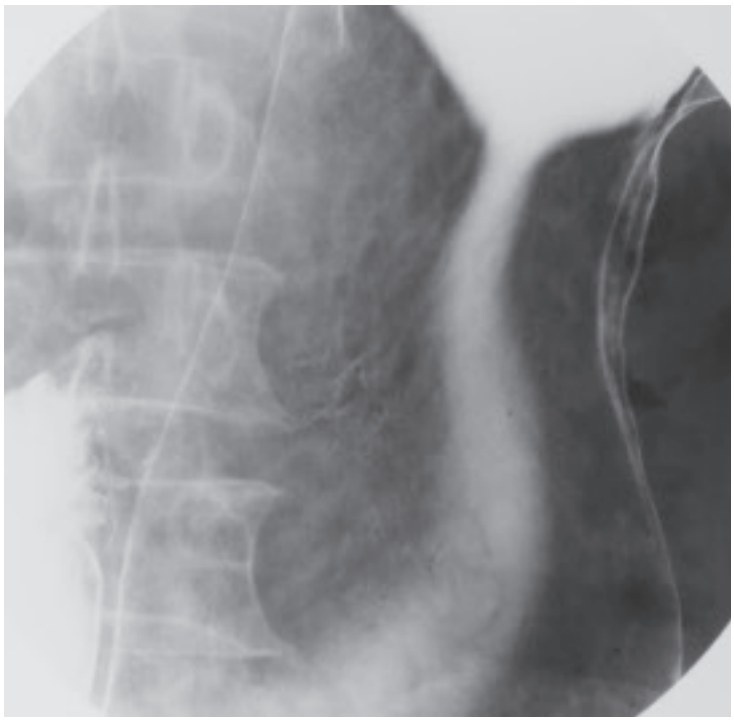
切り出し、マッピングおよびルーペ像





Moderately diff.
adenocarcinoma.
0-IIc, 46x28mm,
pT1b2(SM2),
ly1, v0, pN2+.

見直し診断



左は検診時の背臥位第2斜位の拡大である。椎体に重なる部位に粘膜異常として描出されているが、所見に気付かなければ拾い上げ困難である。しかし、右図のように、撮影時に異常所見に気付き、椎体(障害陰影)を外し、バリウムを十分に付着させた状態で撮影することで拾い上げが容易になる。バリウムを流しながらの透視観察の重要性と、異常の有無が判断できる的確な追加撮影は、読影を容易にするばかりでなく、拾い上げ所見の質的診断に大きく貢献できるため、有効な追加撮影を積極的に行う必要がある。

第76回日本消化器がん検診学会
関東甲信越支部地方会開催のご案内

■会　　期：2016年8月20日(土)

■会　　場：朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）

■会　　長：成澤　林太郎（新潟県立がんセンター新潟病院内科）

■テ　ー　マ：消化器がん検診の新たなる展開

■プログラム：特別講演、教育講演、シンポジウム、一般演題ほか

■演題締切日：5月16日予定

■問い合わせ先：第76回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会事務局

〒951-8566　新潟市中央区川岸町2-15-3

新潟県立がんセンター新潟病院　内科　塩路和彦

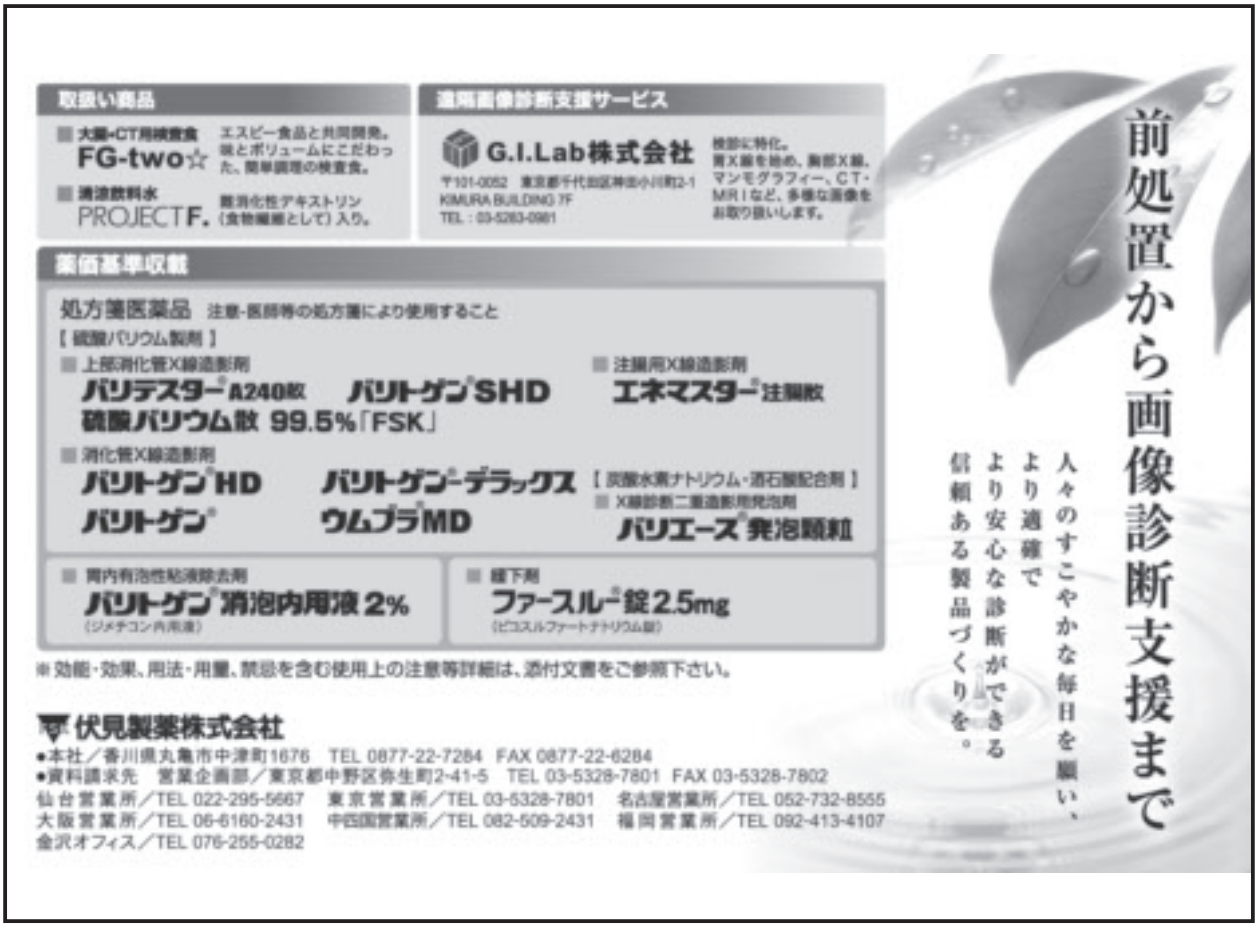
TEL　025-266-5111（代）

FAX　025-233-3849（医局直通）

E-mail：shioji@niigata-cc.jp

E-mail：専用アドレス準備中

ホームページ：準備中



第11回　超音波セミナー in 新潟　開催のご案内

委員長　関根　厚雄(新潟県労働衛生医学協会)

日　時:2016年3月20日　　10:00～17:00　　(受付 9:30～)
会　場:朱鷺メッセ　4F　国際会議室　3F　小会議室　303. 304.305.
〒950－0078　新潟市中央区万代島6番1号　TEL. 025-246-8400

参加費	会員(日本消化器がん検診学会)	非会員
講　　演	2, 000円	3, 000円
ライブデモ・講　演	4, 000円	5, 000円
ハンズオン・講　演	5, 000円	6, 000円

プログラム

10:00～10:05
　開会の辞　　会場 国際会議室

10:10～12:00
　ライブデモ　会場　国際会議室
　ハンズオン　会場　303. 304. 305
12:00～13:00　休憩

13:00～13:10
　委員長挨拶　関根　厚雄
　(新潟県労働衛生医学協会　集団検診センター)
13:10～14:10
　「　肝　臓　」
　　講師：須田　剛士（新潟大学地域医療教育センター）
　　魚沼基幹病院
　　座長：加藤　公則（新潟県労働衛生医学協会）
14:20～15:20
　「　胆　道　・　膵　臓　」
　　講師：岡庭　信司（飯田市立病院）
　　座長：渡邊　博昭（新潟医療福祉大学医療技術学部）
15:30～16:30
　「　消　化　管　」
　　講師：西田　睦（北海道大学病院）
　　座長：関根　厚雄（新潟県労働衛生医学協会）
16:30～
　閉会の辞

17:30～
　情報交換会　　ホテル日航新潟　　※敬称省略

＊超音波検査士資格更新指定(出席5単位)
出席単位は午後の講演に参加することにより付与となります。
新潟県臨床検査技師会生涯教育認定(専門教科10点)
(当日会員証をお持ちください。)
＊機器展示(12:00～13:30):機器展示のみは無料です
(機器展示の参加申込みは不要です)

参加申込み方法

申込み期間:平成28年2月　1日～2月28日
申込み期間以前のメールは受付いたしません。
[yo_wakabayashi@niwell.or.jp] 宛にメールにて、
申込み下さい
① 件名に"超音波セミナー in 新潟　申込み"と記入
② 氏名、施設名、電話番号
③ ライブデモ・ハンズオンの希望は、コースを明記
④ 1通のメールにつき1名の申込みとなります。
1通のメールで複数の申込みの場合、その申込みは受付できません。後日、申込み時のメールアドレスに申込書を添付し返信いたしますので、添付ファイルが受け取れるアドレスでお申込みください。申込書に必要事項を入力の後、再度送信願います。
5日以内に返信の無い場合は、
新潟県労働衛生医学協会　新潟健康増進センター
(025-232-0151)　若林までご連絡ください。
なお、受講票の送付は3月上旬になります。

ライブデモ:　消化管
　　肝臓胆道系　中・上級者
ハンズオン:腹部、　乳腺、心臓、頸動脈

ランチョンセミナーはありませんが、お弁当(1000円)を用意しますので必要な方はご記入ください。
セミナー終了後、情報交換会を企画しております。
会場　ホテル日航新潟　　17時30分開始予定
会費　5000円

主催:超音波セミナー in 新潟 実行委員会　共催:日本消化器がん検診学会　後援:新潟県臨床検査技師会
問合せ先:新潟セミナー実行委員会事務局　新潟県労働衛生医学協会 プラーカ健康増進センター　服部・牧田
〒950-0917 新潟市中央区天神1－1　プラーカ3　5F　　TEL:(025)247-4101　FAX:(025)245-4104

日本消化器がん検診学会関東甲信越支部

平成28年度　超音波研修委員会セミナーのご案内

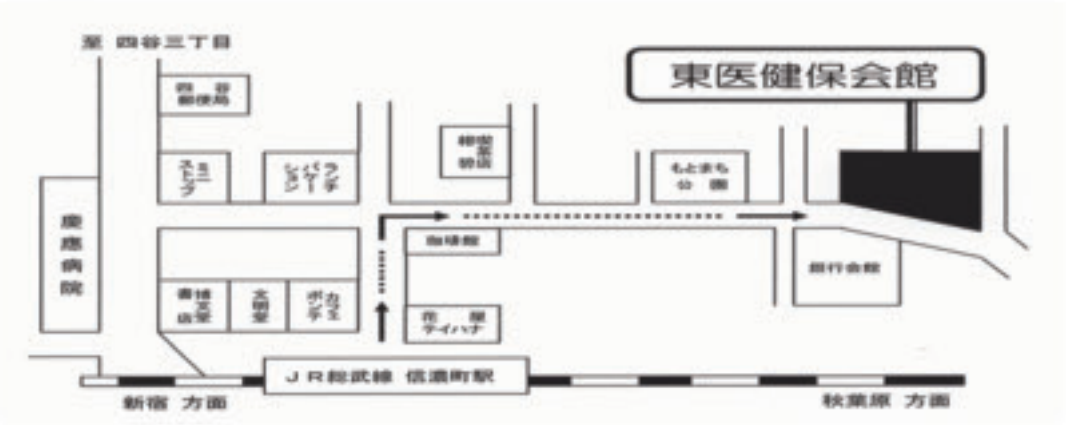
会　期：平成28年4月16日（土）
午後1時～4時30分（受付開始12時30分）

会　場：東医健保会館 大ホール　東京都新宿区南元町4番地

会　費：3,000円（非会員4,000円）予定

※事前の登録は必要ありません。

※このセミナーは、社団法人日本超音波医学会認定「超音波検査士」資格更新指定の対象になっており、出席5単位が付与されます。



プログラムの詳細が決まり次第ホームページに掲載致します。

問合せ先：関東中央病院画像診断科　E-mail: kensa.gazou@kanto-ctr-hsp.com

ホームページURL：　http://www.mskanus.org/

平成28年度超音波セミナー
プ　ロ　グ　ラ　ム

13：00～13：05　開会の辞

13：05～13：55　教育講演1『読影医の視点　～こんなところをみています～　肝臓』
講　師：中島　美智子先生　埼玉医科大学

14：00～14：50　教育講演2『読影医の視点　～こんなところをみています～　膵臓』
講　師：小川　眞広先生　日本大学病院

14：50～15：10　休憩

15：10～16：10　症例検討会
座　長：山口　和也先生　ちば県民保健予防財団

16：10　閉会の辞

消化器がん検診学会関東甲信越支部超音波研修委員会第5回千葉セミナー

＊超音波検査士資格更新認定（出席5単位）

■**会　期**：2016年7月9日（土）（受付開始　12：00）

■**会　場**：千葉市民会館（小ホール）

■**大会長**：山口和也（ちば県民保健予防財団総合健診センター）

■**セミナー**：

12:00より受付開始

12:30～16:30　セミナー

教育講演　杉浦信之先生（国立病院機構千葉医療センター）

メーカー情報提供

シンポジウム　「検診施設と精密検査施設との連携」

■**参加費**：会員1500円　非会員2500円　　事前登録不要

■**主　催**：日本消化器がん検診学会関東甲信越支部超音波研修委員会

■**後　援**：日本超音波検査学会

■**連絡先**：大会長：山口和也　ka-yamaguchi@kenko-chiba.or.jp

◎　12時から16時30分　機器を展示いたします。

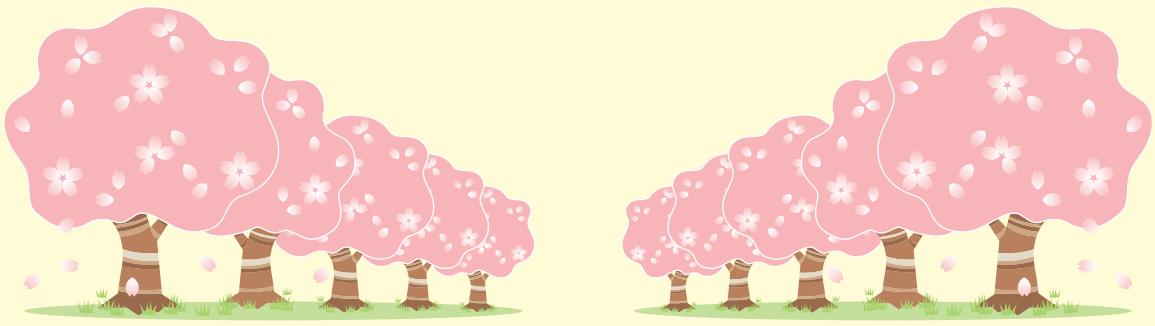
◎　今回は、ハンズオン、ライブデモは行いません。

編集後記

昨年12月は暖かく20℃を越える日もあり、年末年始も過ごしやすい日が続きました。超音波検査関連では12月の暖かい中、超音波スクリーニング研修講演会が開催され、著名な先生方の講演7演題を聴くことが出来ました。聞くところによると890名の参加者があったそうです。これに対応する為に次回は会場をTOC五反田メッセに移して開催するそうです。有明からの夜景が見られなくなるのは残念ですが、新しい会場に期待をしています。

2月になると超音波研修委員会主催の「初心者のための腹部超音波実技講習会」が関東中央病院で開催されます。2年前の実技講習会は大雪だったことを思い出します。当日、実技講師の担当だった私は、遅刻しないようにと早起きをして家を出ようと・・・ところが雪で玄関のドアが開きません、何とか開けて駅まで向かいますが雪の深さは膝が隠れるほど積もっています。何とか駅に着きましたが電車が遅延しており、講習会開始時間ギリギリで到着しました。大雪なのだから受講生も来てないだろうなと思っていたのですが、9割ほどの方が着席していました。超音波検査を学ぼうという熱い意思が伝わってきたことを思い出します。暖冬の時は大雪が降ることがありますが、今回も無事に開催されるよう願っています。

公益財団法人　東京都予防医学協会
検査研究センター検診検査部
神宮字　広明

■編集委員会■
編集委員長　山口　和也
編集委員　小田　丈二　岡田　義和　神宮字　広明　山本　美穂
石井　崇雄　木村　友子　渡邉　綾子

（非売品）